

11月3日（水）

- 嘉興経済技術開発区管理委員会 毛 雪栄 副主任 表敬訪問
金 文峰 開発区招商局副局长、他

嘉興経済技術開発区管理委員会を表敬訪問し、毛 雪栄 副主任、金 文峰 開発区招商局副局长と意見交換を行いました。



嘉興経済技術開発区管理委員会 毛 雪栄 副主任 表敬訪問

【概要】

嘉興経済技術開発区は、上海市に隣接する浙江省の工業団地で、上海市中心部から車で2時間近く走ったところに位置します。1992年から開発され、大阪からの2社を含め日系企業が52社進出しています。しかしながら最近では日本の現下の経済情勢を反映してか、日系の企業の進出は少なく、韓国企業が多い旨をお聞きしました。50年間の使用権を一括で支払った上で毎年地代を支払う方法と、建物（工場）を賃貸する方法とが選択できるようになっています。担当者は日本語が話することができるなど、日系企業進出への期待は依然強いものがあると感じました。

- 千代田電子（嘉興）有限公司（千代田電子工業株式会社の子会社）訪問
山本貴史社長、孫 管理部長、他



千代田電子（嘉興）有限公司 訪問

千代田電子（嘉興）有限公司は、ハーネスを製造している千代田電子工業株式会社の100%子会社です。複写機関係の日系企業が顧客の大半であり、当初中国に進出した頃は、顧客企業の多数が中国に進出していた時期で、共に進出することが求められていたとのことでした。

好調な中国経済を反映して、売り上げは増加傾向とのことで、開発区に進出時の受け入れ体制が優れていたことのみならず、その後のサポートもしっかりしている点や、新幹線が通り上海から20分と立地が良いことも、満足度を高めているようでありました。

山本社長からは、中国における人と人の関係の重要性を強く感じており、「日本人的」によく働く孫管理部長のお陰で人事管理面での問題なく進められていますとのことをお話をお聞きしました。海外に進出する際、そこで良き人材を得ることの重要性をここでも再認識させられた次第です。

- 浙江嘉興露香紡績有限公司（株式会社ルシアンの子会社） 訪問
大橋社長、他

同社は株式会社ルシアンの100%子会社であり、レースに特化して生産してい

ます。

立地の良さや、ファッションの中心である上海に近いことに加え、開発区が熱心に相談に乗ってくれたことが、この地を選んだ理由であるとお聞きしました。

売り上げの 8 割は日本を中心とする輸出であるが、中国の人件費も上昇してきてコストメリットが小さくなりつつあるので、国内マーケットも睨みながら経営しているとの説明を受けました。中国人は器用で、視力も良くレース作りには向いているものの、労働力が確保しにくくなってきており、機械化を一層進める必要を感じているとのことでした。

ここでも開発区のサポートを評価する声が聞かれ、企業誘致の成功の大きなポイントであるとの感を強くいたしました。

意見交換の後、機械化が進んだ大型の織機が次々と刺繍を生み出すゾーンと視力の良い従業員による手作業による検査等のゾーンが混在している工場内の視察を行いました。



浙江嘉興露香紡績有限公司にて工場見学

- 上海市奉賢区総合開発区 金 暁中 副総経理 表敬訪問
卓 雅 奉賢区経済委員会副主任、他

上海市奉賢区総合開発区を表敬訪問いたしました。

【概要】

誘致担当者から奉賢区の概要説明を受けました。

説明を行ってくれた担当者が、香西君という日本の青年で、中国の大学を卒業し新卒で上海市工業総合開発区へ就職したと聞きました。近年、日本の若者が海外へ出たがらない傾向にあるという話も聞きますが、こういう形で海外へ出てチャレンジし、キャリアを積んでいく青年もいるのかと頼もしい気持ちになりました。

このエリアには、既にかかなりの数の日系企業が進出していました。ここも嘉興と同じく工場のレンタルも行っていますが、基本は50年の使用権の売却によるとのことでした。業種よりも企業体として優良な企業を誘致したいとの思いで、加えて環境に配慮する企業が望まれるとのことでした。



上海市奉賢区総合開発区 訪問

- 上海光電医用電子儀器有限公司 訪問
横山 啓二 社長、童 李民 副社長、他

上海光電医用電子儀器有限公司を訪問し、横山 啓二 社長、童 李民 副社長と意見交換を行い、工場見学を行いました。

【概要】

同社は、日本光電工業株式会社の子会社で、当初合弁会社として作られ、2008年に独資化（完全子会社化）されました。高度な医療用の電子機器などを製造

しています。

意見交換・説明の後に、工場見学も行いましたが、比較的馴染みのある AED（自動体外式除細動器）から、専門家でないと理解が容易でないものまで、幅広く取り扱われていました。

作業工程においては、気付いた時点ですぐさま改善を行っていましたが、これらの改善への取組などは日本と共通の視点であると感じました。一方で、機密性が高い工程も含まれているとのことでしたので、写真撮影などは差し控えることとしました。また、ここでも、開発区と進出企業が継続して良好な関係を保っていることが窺われました。



上海光電医用電子儀器有限公司 訪問

11月4日（木）

○ 在上海日本国総領事館 表敬訪問

平木場 弘人 主席領事、佐々木 明彦 領事

在上海日本国総領事館を表敬訪問し、平木場 弘人 主席領事、佐々木 明彦 領事と意見交換を行いました。

【概要】

私から、上海万博大阪館への支援等について感謝を表しました。

平木場主席領事からは、大阪館が群を抜いて素晴らしかったこと、上海万博を通じて大阪の発信が十分なされたと思いますとの評価を頂戴しました。

又、佐々木領事からは、経済状況を中心とした上海の概況についてのお話をお聞きしました。工場訪問の際にも耳にすることがありましたが、内陸部の経済成長により輸出から国内マーケットを目指す動きが加速していることや、労働関係法令の改正などにより賃金が上昇しつつも人手不足状況が生じているとのお話を伺いました。

微妙な国際状況の中でも、民間レベルでは交流が盛んであり、クールジャパンについては関心も高いことなども、いくつかの具体例を以ってお話頂き、草の根の交流の重要性を再認識しつつ領事館を辞しました。



在上海日本国総領事館 表敬訪問